

# 地域商店街活性化法に基づく商店街活性化事業計画(野幌商店街振興組合) 計画期間:平成24年4月～平成29年3月(5年間)

## 現状



組合員数:47  
主な業種:飲食店(48.9%)、小売業(19.1%)、サービス業(14.9%)

## 課題

- 大型店出店によるにぎわい減少
- イベント時や飲食店以外の利用が少ない
- 働く場所がない

## 機会

- 10年以上「ハッピーハロウィン」などの地域貢献事業を実施している
- 平成25年度から平成27年度にかけて商店街内の道路拡幅工事が実施される予定
- 江別市内に4つの大学がある

## 地域住民ニーズ

地元学生によるオリジナル商品を販売して欲しい

大学の授業の場として商店街を活用して欲しい

ちょっとした商売をチャレンジできる場が必要

住民の関心がある講座を開催できる場が必要

商店街のイベントを一緒に作りたい、手伝いたい

新鮮な野菜を販売する朝市等のイベントが必要

## コンセプト

～みんなが集まる学びの商店街～

- 魅力ある商店街
- 地域住民が集まる、交流のある商店街
- 地域住民が参加するイベントのある商店街

## 事業内容

平成24年度～28年度

オリジナル商品を  
販売してほしい

授業の場として  
活用してほしい

ちょっとした商売を  
チャレンジしたい

### ① 商学連携事業 (平成24年度～継続)

#### ○大学・高校と連携した商品開発

授業の一環として原材料栽培から商品レシピ開発までを実施。

地域住民向けの試食会を開催し、平成25年度以降もニーズを踏まえた売れる商品づくりを行い、販路拡大も図る。

平成28年度

イベントを一緒に作りたい

### ② コミュニティ事業 (平成28年度)

○専門家や地域住民による市民講座

#### ○学生による「まちのキカク書」提案

地元の大学生が「まちのキカク書」を、地域住民等に提案発表を行う。

学生は授業の一環として現地調査を行い、買物や生活に関する課題と解決策を整理し提案する。

提案した事業を実現したい学生を大学や市が支援し、平成25年度以降は商店街内で起業を目指す人材を育成する。

平成28年度

朝市が必要

### ③ はってん横丁事業 (平成28年度)

○地元農家と連携した朝市

## 実施体制

活性化協議会  
(商店街、大学、NPO等)

事業委員会

事業委員会

事業委員会

支援

江別市

事業報告

評価、  
改善提案

評価委員会  
(地域住民等)

助言

## 数値目標

### 通行量

平成23年度 1,233人/日



平成28年度 1,265人/日 (102.6%)

### 売上高

平成23年度 515百万円



平成28年度 519百万円 (100.8%)